

4. 会誌及び著書の出版

4-1 広報委員会

本委員会は、当協会の目的達成に必要な各種の情報及び事業活動に関する情報を関係者に積極的に広報することを目的として、継続設置されている事業実施機関であり、年間4回の機関紙「大学教育と情報」を発行する他に、大学関係者に広域的に伝達するためホームページにも掲載している。

(1) 会誌「大学教育と情報」の発行

本年度は、「Vol.12 No.1号」から「Vol.12 No.4号」を発行した。発行部数は、16年3月末日現在、全国の私立大学・短期大学・当協会賛助会員、関係省庁及び関係団体・関係機関を中心に17,000部となっている。

編集は、読者に魅力ある会誌となるよう、次の点を基調として発刊している。

- ① 教育改善のためのファカルティ・ディベロップメントの参考となるよう、ITを中心とした企画から、広く大学教育の問題を取り上げる中での情報技術の活用や教育の支援組織・体制などに関するテーマを「特集」として取り上げることとしている。情報関係ではない教員も興味を持てるような企画を取り上げ、教育問題を解決するための情報誌として活用されるよう編集企画を工夫する。
- ② 加盟校を紹介するため、これまでは「情報教育と環境」として大学の規模・種別、情報環境の類似性を考慮して編集してきたが、情報専門の教育環境と誤解されることを避けるため、コラムを「教育支援環境とIT」と改称して掲載することにした。
- ③ 海外における情報技術を活用した教育や環境の話題について、最新情報を翻訳し、紹介する。
- ④ 学系別教育における情報技術の活用事例を継続して、紹介する。今まで掲載した学系別分野であっても、視点を変えて再度取り上げていく。
- ⑤ 教員が体験したIT授業への苦労話を「授業改善奮闘記」として、本音で紹介し、問題克服のためのネットワークを提供する。

なお、広報活動をホームページで補完するため、会誌をはじめ各種刊行物・資料などを掲載し、関係者への情報伝達の徹底化に努めている。

(2) 会誌「大学教育と情報」Vol. 11 No. 1～No4の掲載内容

以下に、4回発行の内容を掲載する。

【大学教育と情報 Vol. 12 No. 1】

- ・ 巻頭言「情報化による新しいコラボレーション」 白井 克彦
- ・ 授業改善奮闘記「これからの看護教育を考える～看護過程を文献検索で解決しようとする学生と臨地実習におけるIT導入～」 石井八恵子
- ・ 特集「IT活用によるファカルティディベロップメントへの取り組み」
「ファカルティディベロップメント実践に行き着く前の共通理解として」 保崎 則雄
- 「学習院大学におけるファカルティディベロップメントへの取り組み
～ITを用いた授業展開の改善と支援体制～」 入澤 寿美
- 「教育を支える情報化の歩み～電子シラバス化とデジタルコンテンツ作成
支援への取り組み～」 宮川 裕之
- 「全学的コンセンサスの形成と実践～武庫川女子大学のファカルティディ
ベロップメントの現状～」 今安 達也
- 「工学部におけるITを利用したファカルティディベロップメントへの取り
組み～情報公開とデジタルコンテンツの開発～」 加藤 潔
- 「広島修道大学におけるファカルティディベロップメントへの取り組み
～IT環境整備と全学的な授業のIT活用を目指して～」 高濱 節子
- ・ 経営学の教育における情報技術の活用
- 「多人数の経営学教育における双方向性の追求」 松島 桂樹
- 「遠隔講義（3地点・双方向）による学習効果の上昇～阪南大学の試み～」 野澤 正徳
- 「MBA向けグローバルアクションラーニングプログラム「マネジメントゲ
ームにおけるIT利用の現状」 岩井 千明
- ・ 教育支援環境とIT
大阪学院大学／立教大学
- ・ 投稿「BBS（電子掲示板）を利用したTOEFLライティングの授業」 水野邦太郎
- ・ 私情協ニュース
- ・ 賛助会員だより

【大学教育と情報 Vol. 12 No. 2】

- ・ 巻頭言「情報化時代の新たなモラル」 川並 弘昭
- ・ 特集「IT活用によるファカルティディベロップメントへの取り組み（2）」
「IT技術教育の改善と大学の新しい役割～東京サテライトの
開設とブロードバンドの利用について～」 丸山不二夫
- 「高知工科大学の情報ネットワークとファカルティディベロップメント」 寺田 浩詔

「東京理科大学におけるIT活用支援への取り組み～ITを利用した授業の現状と今後の支援活動～」 半谷精一郎

• 建築学の教育における情報技術の活用

「Webサイトを活用した構造力学の自学自習システム」 横井 友幸

「マルチメディア活用による建築設備への入門授業」 寺尾 道仁

「Web Learning Studioによる建築設計教育～ネットワークを活用した学外遠隔地非常勤講師との連携教育～」 衣袋 洋一

• 教育支援環境とIT

名古屋造形芸術大学／大阪芸術大学

• 投稿「板書と音声電子化した簡便な薬学授業アーカイブスの構築」

梶原 正宏／向日 良夫／日野 文男／高取 和彦

• 文部科学省ニュース

• 私情協ニュース

• 翻訳「リテラシーの概念の拡大について」

Expanding the Concept of Literacy

【大学教育と情報 Vol.12 No.3】

• 巻頭言「学生の勉学意欲を高める支援システム：TIES（タイズ）」

石澤 末三

• 特集「IT活用によるファカルティディベロップメントへの取り組み（3）」

「中部大学におけるファカルティディベロップメントへのIT活用の取り組み～授業作りへのIT活用と支援体制～」 水島 章次／坪井 和男

「関西学院大学におけるファカルティディベロップメントへの取り組み～Web上でのシラバスと授業評価システムの連携例～」 村田 治

「大阪歯科大学におけるITを活用した教育改善にむけて」

井上 正義／豊田 紘一

• 物理学の教育における情報技術の活用

「物理でe-Learningを導入するか？」 松浦 執

「Java物理シミュレーションと物理副読本、Flashとe-Learning」

徐 丙鉄

「演習授業形態におけるIT活用～学生による電子教材作りを通じた学習効果デザインと「場」の共有～」 満田 節生

• 教育支援環境とIT

北海道薬科大学／星薬科大学

• 投稿「ASP形式での高等教育向け大規模講義支援システムの構築と公開」

川場 隆

• 私情協ニュース

• 翻訳「アカデミック・カレンシーとしての学習度（1）」

Student Learning as Academic Currency

【大学教育と情報 Vol. 12 No. 4】

- ・巻頭言「大学の国際競争とインターネット」 坂本 和一
- ・授業改善奮闘記「プリントからCAE、そしてe-Learningへ」 松本 誠治
- ・特集「IT活用によるファカルティディベロップメントへの取り組み(4)」
 - 「順天堂大学におけるITを活用した医学教育支援への試み」 江原 義郎
 - 「創価大学のファカルティディベロップメント活動とIT活用」 山中 馨
 - 「福岡大学における全学的なIT環境整備への取り組み」 吉村 賢治
- ・医学の教育における情報技術の活用
 - 「医学部教育の現状とクラスルーム型講義におけるIT活用の実践」 藤岡 睦久
 - 「東海大学医学部授業におけるIT活用の現状」 上野 滋 / 中澤 博江
 - 「医学教育におけるIT利用の変遷」 安藤 裕明
- ・教育支援環境とIT
国際基督教大学 / 高松大学
- ・文部科学省ニュース
- ・私情協ニュース
- ・賛助会員だより
- ・投稿「ソフトウェアに最適な基本システムを利用したPC教室の構築」 守 啓祐
- ・翻訳「アカデミック・カレンシーとしての学習度(2)」
Student Learning as Academic Currency

(3) 会誌「大学教育と情報」の私情協ホームページへの掲載

大学・短期大学の関係者にさらに広域的に伝達するため、会誌を私情協のホームページに継続して掲載した他、全文検索機能にエラーが発生することがあるため、検索システムの見直しを行い、16年度に継続して検討を進めることにしている。

4-2 出版物の刊行

「平成14年度版私立大学情報環境白書」と「論文誌情報教育方法研究」を11月の総会で紹介するとともに、会員校に配布した。